

S5U1C17001H User Manual 正誤表

項目			
対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S5U1C17001H User Manual	411153400	6.1	16
(誤)			
6.1 Flashプログラミングの準備			
S5U1C17001Hは、内部Flashメモリにダウンロードしたプログラムなどのデータを直接ターゲットシステムのFlashメモリに書き込むことができます。			
まず、以下の手順で、ターゲットのFlashメモリに書き込むデータを、S5U1C17001Hにダウンロードします。			
(1) ターゲットFlashメモリの書き込み用ファイルをモトローラS3ファイルに変換します。			
この変換には、S1C17 Family Cコンパイラパッケージに含まれるobjcopy.exeを使用します。			
例: 1. sample.elfをモトローラS3ファイルへ変換			
>objcopy -O srec -R .gbss --srec-forceS3 sample.elf sample.sa			
2. sample.sa内の空きアドレスを0xffで埋め、sample.safを作成			
(フィル開始アドレスが0x8000、対象ブロックサイズが0x1000の場合)			
>moto2ff 0x8000 1000 sample.sa			
(2) S5U1C17001HをICDモードで起動します(5.2節参照)。			
(3) デバッガを起動します。			
1. GDBの起動			
>gdb			
2. ターゲットの接続			
(gdb) target icd usb			
(4) S5U1C17001Hに以前の不要なプログラム/データが残っている場合は、c17 fweコマンドで消去します。			
(5) Flash消去/書き込みプログラムをc17 fwlpコマンドでS5U1C17001Hにダウンロードします。			
例: データ消去/書き込みプログラムファイルwriter.saをロードする			
(消去ルーチン開始アドレスが0x4c、書き込みルーチン開始アドレスが0x80の場合)			
(gdb) c17 fwlp writer.sa 0x4c 0x80			

(正)

6.1 Flashプログラミングの準備

S5U1C17001Hは、内部Flashメモリにダウンロードしたプログラムなどのデータを直接ターゲットシステムのFlashメモリに書き込むことができます。

まず、以下の手順で、ターゲットのFlashメモリに書き込むデータを、S5U1C17001Hにダウンロードします。

- (1) ターゲットFlashメモリの書き込み用ファイルをもとローラS3ファイルに変換します。

この変換には、S1C17 Family Cコンパイラパッケージに含まれるobjcopy.exeを使用します。

例: 1. sample.elfをもとローラS3ファイルへ変換

```
>objcopy -O srec -R .gbss --srec-forceS3 sample.elf sample.sa
```

2. sample.sa内の空きアドレスを0xffで埋め、sample.safを作成

(フィル開始アドレスが0x8000、対象ブロックサイズが0x1000の場合)

```
>moto2ff 8000 1000 sample.sa
```

- (2) S5U1C17001HをICDモードで起動します(5.2節参照)。

- (3) デバッガを起動します。

1. GDBの起動

```
>gdb
```

2. ターゲットの接続

```
(gdb) target icd usb
```

- (4) S5U1C17001Hに以前の不要なプログラム/データが残っている場合は、c17 fweコマンドで消去します。

- (5) Flash消去/書き込みプログラムをc17 fwlpコマンドでS5U1C17001Hにダウンロードします。

例: データ消去/書き込みプログラムファイルwriter.saをロードする

(消去ルーチン開始アドレスが0x4c、書き込みルーチン開始アドレスが0x80の場合)

```
(gdb) c17 fwlp writer.sa 0x4c 0x80
```

Flash 消去/書き込みプログラムについての詳細は、GNU17 をインストール後以下のリードミーを参照してください。

C:\EPSON\GNU17\mcu_model\xxxx\fls\ (デフォルトインストール時)